



# 明るい漁村

## 迎春



美保関町「沖の御前島から昇る朝日」

### CONTENTS

新年のご挨拶 JFしまね会長 .....	2
新年のご挨拶 島根県知事 .....	3
JFしまね福浦さわらの会天皇杯受賞 .....	4
第31回島根県海の子絵画展審査会開催 .....	5

浜の声～下間常幸さん（JFしまね浜田支所所属） ..	6
漁業所得補償対策事業説明会開催 .....	7
事業部だより 温かい真心に感謝 .....	8

# 新年のご挨拶



漁業協同組合 JF しまね  
代表理事会長 岸

宏

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私も漁業協同組合 JF しまねも早いもので合併以来五年が経過致しました。その間、「組合員所得の増大」を目標に、皆様方のご支援・ご協力を賜りながら、鋭意事業を推進して参りました。

漁業をとりまく環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、中でも漁業経営を大きく左右する漁業用燃油においては、いったん落ち着きを見せ始めたものの、再び値上がりし高止まり傾向となつてきている中、昨年4月には、漁業用燃油価格及び配合飼料価格の急激な上昇に備え、国と漁

業者とが1対1で基金を積み立てる「漁業経営セーフティーネット構築事業」が導入されたことは、漁業者の経営安定を図る上で、有意義な制度であると考えております。

しかしながら、島根県内の漁業に占める燃油コストの割合は、全国平均に比べて高く、実情を考慮したとき、更なる対策を図る必要があると考え、島根県に対し、独自の支援策を強く要望した結果、国の発動と同時に県からも1・2%の上乗せが決まり、JF しまねの上乗せと合わせ、更に関係市町からの補てん金に加え、3・6%の補てんを受けられることとなりま

す。今後は更に、事業実施期間の延長と燃油高騰時の補てん金発動要件の緩和など、恒久的な経営安定対策に取組んでいきたいと考えております。

一方、魚価対策及び老朽化に伴う施設整備として、恵曇冷凍冷蔵庫を新たに整備し、地元や島根半島東部に加え、隠岐地区のまき網船団を誘致することで、鮮魚・加工原魚の確保や、鮮魚保管施設の活用等による魚価向上や地域経済の活性化に役立つことと念願しております。

また、経営の合理化や鮮魚流通の効率化を図ることを目的とした市場統合協議の結果、大田市管内4箇所の市場を、港の広さや岸壁付近の水深、港湾機能や取扱高などから、現在の和江市場へ統合することとし、溝口島根県知事並びに竹腰大田市長に対し、荷捌所の新設整備や進入道路の整備などを要望し、知事及び市長からは新市場が機能するよう、よく検討するとの回答を頂いたところであります。また、予てより進めて参りました出雲市内3市場を集約する新市場整備については、本年12月完

成を目標にすでに仮設市場建設が始まり、4月より新市場建設工事が着手する事が決定したところであります。

また、これまで永年にわたる懸案事項であり、総会の特別決議として採択頂いた竹島領土権確立運動については、未だ何ら進展もないばかりか、暫定水域があるために影響を受けている漁業者への救済措置も、政府の事業見直しによって縮小されており、竹島問題が風化されつつあるやの懸念すら抱く現状であり、私共は改めて、竹島問題を全国的な漁民運動として強力に展開していく所存であります。

今なお厳しい状況下にある水産業並びに本県漁業ではあります。が、JF しまね組合員、役員が「一丸となり、「ゆるぎない信念」とたゆまざる努力」をもって着実に課題を解決しながら、積極的に事業展開をすることで、必ず明るい兆しは見えてくると確信致しております。

組合員の皆様の一層のご繁栄とご健勝、そして今年一年が海上安全、豊漁の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。



# 新年のご挨拶



島根県知事

溝口 善兵衛

明けましておめでとうございます。

昨年は、11月に開催されました農林水産祭で、貴組合美保関支所福浦出張所所属の「福浦さわらの会」の皆様が見事、天皇杯を受賞されました。水産業での受賞は島根県で初めての快挙であります。このたびの受賞は、地域の特色や創意工夫を生かされた成果によるものであり、心からお祝いを申し上げます。

さて、近年、燃油の高騰、魚価の下落、資源の悪化等により、漁

業経営は厳しい状況が続いています。また、これらに加え、昨年末に突如表明されたTPP参加問題など、水産業にとって、ますます先行きが不透明な状況になっていきます。

こうした中、外部要因の変化に対応できる足腰の強い経営体を育成することが喫緊の課題となっております。

貴組合におかれましては、石東地区の市場統合や小型底びき網漁業の資源に見合った適正規模化に取り組まれるとともに、まき

網漁業運搬船・沖合底びき網漁船の代船確保や魚価対策などの諸課題に積極的に取り組んでおられるところであり、心から敬意を表する次第であります。

県といたしましても、緊急融資制度や全国に先駆けた国の燃油セーフティネット事業への上乘せ支援、小型底びき網漁船の減船事業に対する支援等を行うとともに、まき網漁業、沖合底びき網漁業の代船問題や資源管理、魚価対策、担い手の確保・育成、水産基盤整備などの施策を貴組合と連携して取り組んでいるところであります。

また、平成23年度は新たな農林水産業・農村漁村活性化計画を策定する年であり、関係の皆様のご意見、ご要望をよく踏まえながら取り組んでまいれる所存であります。

他方、竹島の領土権の確立、日韓暫定水域における外国漁船の不法操業の問題など、多くの課題

が残されておりますが、引き続き早期解決を強く国に要請してまいります。

長い海岸線を有する島根県では、漁業を主たる産業とする地域が多く存在し、漁業の存続が地域の存続に直結することから、本年も水産業の振興に積極的に取り組んでまいります。関係の皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますとともに、本県水産業のますますの発展を祈念しまして、年頭のごあいさつといたします。



# JFしまね福浦さわらの会(JFしまね美保関支所)

## 天皇杯受賞

いて天皇杯が授与された。水産業での受賞は島根県では初めてとのこと。

農林水産祭中央審査会とは、過去1年間の農林水産祭参加行事の中で農林水産大臣賞を受賞（今回は517点から選出）福浦さわの会は、第15次全国青年・女性漁業者交流大会にて受賞した取組みの中から7つの部門ごとに決定されたもの。

提供：水産経済新聞



第49回農林水産祭中央審査会（農林水産省、日本農林漁業振興会主催）が昨年10月に開催され、本組合美保関支所に所属する、JFしまね福浦さわらの会（代表・桜井利弘氏、10人）の取組みが評価され、本審査会の水産部門において最高賞である「天皇杯」を受賞し、去る11月23日の農林水産祭式典（東京・明治神宮会館）にお



福浦サワラの会のメンバー



報告祝賀会

漁獲するサワラの漁獲量が近年増傾向にあるもの、魚価は年々下落傾向にあることから、漁業者、JFしまね、行政とが連携し、魚価向上を目指した取組みを二年前から実施している。

船上での活メ・血抜き・冷却から箱詰めに至るまで、これまでとは一転した鮮度保持方法を確立。それらの手順をまとめた「取組みマニュアル」を作成し、遵守徹底による操業を継続し、更に、販路開拓や量販店との連携などに取組んできた結果、全国各地のサワラを取扱う一大消費地である岡山市場において、鮮度・品質において高い評価と併せ、満足のいく単価で取引されるようになるなど、一

連の取組みが先駆的であり、継続性・普及性が期待できるとの高評価を受け、今回の天皇杯受賞につながった。

福浦さわらの会・桜井代表は、今回の受賞に対し、「この度の榮譽に恥じることがないよう、最大のセールスポイントである『鮮度』への高評価を堅持し、今後も市場や関係者と連携をとりながら、常にニーズに合った商品づくりにより鋭意取り組んでいきたい。また、私たちの取組みが少しでも他の漁業者の参考となってもらえれば嬉しい」と喜びと意気込みを語った。

12月15日には、松江市内において、関係者を招いた報告祝賀会が開催され、天皇杯受賞を祝った。



歴代の受賞者が記載されている天皇杯授与簿



# 第31回 島根県海の子絵画展 審査会開催

去る10月8日(金) 島根県水産会館において、第31回島根県海の子絵画展の審査会が開催されました。

県内52の小学校から334作品が寄せられ行われた審査の結果、最優秀賞である島根県知事賞に、濱人(低学年の部・知夫村立知夫小)、酒井俊志くん(中学年の部・松江市立母衣小)、篠原美佳さん(高学年の部・益田市立安田小)の3作品が選ばれました。

審査委員長の石野真島根大学名誉教授は、「海の子絵画展に参加している子ども達は、海・魚・漁業に対し、真剣に向き合っており、低学年の元気良き、中学年の明るい色使い、高学年の豊かなテクニクを感じ、島根美育の着実な歩みを感じることができた。」と総評を述べられました。

尚、島根県知事賞を受賞した3作品は、今月東京で開催される全国海の子絵画展へ出展しております。

## ◆最優秀賞・島根県知事賞 (3名)

高学年の部	中学年の部	低学年の部
いかつり船のある漁港	大好きな海	さかなつりにいったよ
		
		
益田市立安田小学校 6年 篠原美佳さん	松江市立母衣小学校 4年 酒井俊志くん	知夫村立知夫小学校 1年 濱 人和くん

## ◆農林中央金庫賞 (3名)

学校名	学年	氏名	性別	題名
西ノ島町立美田小学校	1	木下 心さん	女	さかなといっしょにおよぎたいな
東出雲町立揖屋小学校	4	寺嶋 夏鈴さん	女	スイミー
東出雲町立出雲郷小学校	5	若林 宙くん	男	大漁

## ◆山陰中央新報社賞 (3名)

学校名	学年	氏名	性別	題名
知夫村立知夫小学校	1	下廣 凌雅くん	男	いかつりにいったよ
出雲市立東小学校	3	坂本 美杏さん	女	海の中の魚
出雲市立長浜小学校	5	福原 史大くん	男	クレーン船が来た

## ◆漁業協同組合 J F しまね会長賞 (6名)

学校名	学年	氏名	性別	題名
東出雲町立揖屋小学校	1	寺嶋 陽菜さん	女	うみのそこにもぐったよ
出雲市立塩冶小学校	1	熱田 昴星くん	男	うみでおいだよ
出雲市立神戸川小学校	4	加芽田 百合子さん	女	魚たちのむれ
松江市立津田小学校	4	清水 葵羅さん	女	真正面から見た船
東出雲町立出雲郷小学校	5	安藤 和哉くん	男	カハギをここにつめるおじさん
松江市立鹿島東小学校	6	栗谷 拓人くん	男	きれいな海にうかぶ船たち

## ◆佳作 (18名)

学校名	学年	氏名	性別	題名
西ノ島町立浦郷小学校	2	藤岡 花音さん	女	貝をとったよ
東出雲町立揖屋小学校	2	越野 翔天くん	男	たのしい海
出雲市立神戸川小学校	2	森 遼太くん	男	海の中はたのしいよ
東出雲町立出雲郷小学校	2	永見 夏月さん	女	じびきあみをしたよ
松江市立佐太小学校	1	錦織 巧武くん	男	なかよしさかな
松江市立津田小学校	2	内田 銀くん	男	海の生きものたち
出雲市立塩冶小学校	4	高橋 美加さん	女	私の好きな魚マンボウ
西ノ島町立浦郷小学校	4	富村 龍くん	男	魚がいっぱいの海
松江市立恵曇小学校	3	加藤 優奈さん	女	ヒラメのせわをするおじさん
出雲市立塩冶小学校	4	幸田 美沙さん	女	クマノミとイソギンチャク
松江市立母衣小学校	4	小豆澤 颯太くん	男	きれいな海
東出雲町立揖屋小学校	3	石倉 諒子さん	女	たくさんとれたよ
松江市立鹿島東小学校	6	森下 佳穂さん	女	港の小船
松江市立鹿島東小学校	6	安達 翔吾くん	男	山と海と船
松江市立鹿島東小学校	6	金崎 有真さん	女	大きな船で出発だ
松江市立津田小学校	5	山本 楓馬くん	男	海の風景
出雲市立平田小学校	6	川瀬 純菜さん	女	小伊津の海
出雲市立湖陵小学校	5	景山 そらさん	女	朝の海

### 【審査委員】

島根大学名誉教授  
農林中央金庫松江支店長  
山陰中央新報社地域振興局地域振興担当部長

石野 真(審査委員長)  
松田 寛嗣  
齊藤 敦

島根県農林水産部水産課水産しまね振興室調整監  
漁業協同組合 J F しまね専務理事

竹森 昭夫  
永田 正二

# 漁の声

## 第8回

しもま 下間 常幸さん80歳（JFしまね浜田支所所属）  
つねゆき

沖合底曳船やまき網船、県内外からのイカ釣船など多数の漁船が水揚げをする浜田港。地元沖底船やまき網船が水揚げされる「どんちうち三魚」の指定港でもあり県内でもっとも大きい港。今回は、ここ浜田に生まれ浜田の海とともに生きる、漁師一筋63年のベテラン一本釣漁師、下間さんに「浜の声」を聞いた。

### 今では一番の長老漁師

漁師歴63年、今年で80歳になる下間さんは、地元で一番の長老漁師。16歳の頃、父親や兄貴の影響もあり、何の抵抗もなく漁師の道を選んだという。

漁師を始めて4、5年は、勉強も兼ねてまき網漁に携わり、その後、借金をして0.8トの小型船を購入。当時は主に、箱眼鏡で海底をのぞきながらアワビやサザエ、ワカメを採る「いそみ漁」に従事したという。またいち早く「天然板わかめ」の生産に乗り出し乾燥機を導入し、順調に水揚げを伸ばしたという下間さん。「あの頃は儲かったでえ」と当時を振り返る。

### 一日の操業時間は 8時間〜10時間

昭和45年、地先海岸の護岸整備が進む中、海の生態系が大きく変わってしまったのをきっかけに、それまでの漁を諦め、一本釣や延縄漁へ切り替えた。「その当時は、鉢巻まいて（埋め立てに）猛烈に反対したけどね」。あのまま漁場が残っていた

ば、それ（いそみ漁）だけで生活できたかもしれんよ」と当時の海を懐かしむ。

今では主に、タイやヒラメ、ハマチやヒラマサを狙う中、4年ほど前から始めたクエの延縄漁ではこれまで、35<sup>キ</sup>の大物を2度も釣り上げたという下間さんの一日の操業時間は8時間〜10時間。「昔から（魚の）反応があっても無くても晩まで操業してしまうに……。ただ、頑固なだけなんじゃと思うよ。」と話す下間さんは、今でも地元一本釣漁師の中で、10本の指に入る水揚げを誇る。また、40年程前から毎日欠かさず付けている日記には、気象条件や漁場、漁獲量や値段などが克明に書き留められている。

「読み返すとほんと参考になるよ。見てもわからんと思うけど：字が汚くて」と笑いながら日記を見せられた。



40年前から毎日欠かさず付けている日記

### 頭が上がらんほど ショックだったなあ…

10年程前、それまで41年間連れ添った妻・千佐子さんを交通事故で亡くした。「頭が上がらんほどショックだったなあ」と当時を振り返る下間さんだが、自身も一年半ほど前に前立腺がんを患い、病院に通いながら、今でも病氣と向き合っている。そんな下間さんの体調を一番に心配している長男・修さんは、会社が休みの時は必ず一緒に漁に出るという。「この先一人で海に出れなくなったら、（息子に）連れて出てもらおうと思うとる。漁は負けんけどね。」と、話してくれた。

### 元気がない限りは 海には出ない

年々変わりつつある海の様子や資源について下間さんは、「資源管理はほんとに大切だと思うよ。だけど、漁師がいくら決め事を守っても、遊漁船やレジャー船が好き放題やっている。難しいと思うけど、あれらを取り締まらんと、資源はさらに悪くなると思うよ。」と、切実に語ってくれた。



「少々体がいうことを利かなくなっても、元気でいる限りは海には出るよ。」と、まだまだやるき満々の笑顔を見せてくれた下間さん。終始明るく気さくに取材に応じていただいた下間さんに、この場を借りてお礼申し上げます。





# 資源管理・漁業所得補償対策事業及び漁業経営セーフティネット支援事業説明会開催

来年度から始まる「資源管理・漁業所得補償制度」及び、「漁業経営セーフティネット支援事業」の説明会が、JFしまね主催のもと開催された。

冒頭、JFしまね岸会長は、昨年4月よりスタートした漁業経営セーフティネット構築事業（国事業）に触れ、「燃油高騰時における支援策をさらに充実させるため、国の事業と併せ、県へも要望した結果、（国の事業発動時に）県単独でも上乗せ補助をする「漁業経営セーフティネット支援事業」の実施を決定頂いた。JFしまねとしても発動時には県と同額を上乗せする。今後は、各市町村へもお願いをしていき、より効果的な政策にしていきたい」とした。来年度から始まる、資源管理・漁業所得補償制度については、「漁業者自らも拠出する漁業共済の仕組みを活用した事業であるが、漁業者にとっては水揚げを確保し、（漁業共済が）発動しないのが一番望ましい。しかしながら、何かあった場合の支えとなるので、全員が加入し、しっかり事業の中身を吟味しながら、メリットを受けられる制度運営にしていきたい」と協力を頂きたいと挨拶。引続き県水産課より事業概要の説明がなされた。

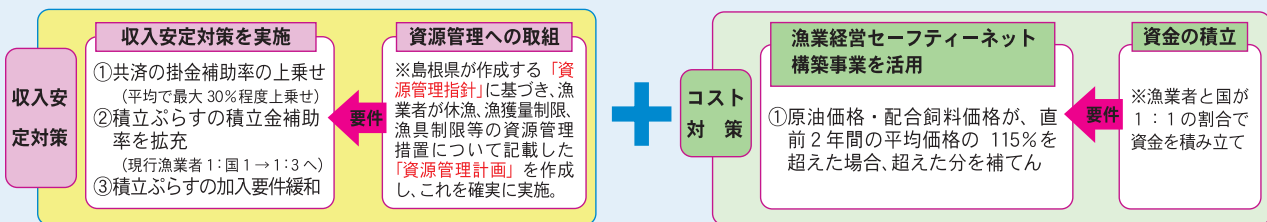
質疑では、資源管理・漁業所得補償制度の要件となる資源管理計画の作成方法や、既に実施している資源回復の取組みが活用できるか否か、また漁業共済の掛金への融資支援など意見が出された。

## 資源管理・漁業所得補償対策

### 漁業における所得補償の考え方

(1) 収入を安定させるために、漁業共済・積立ぶらすの仕組みを活用する。

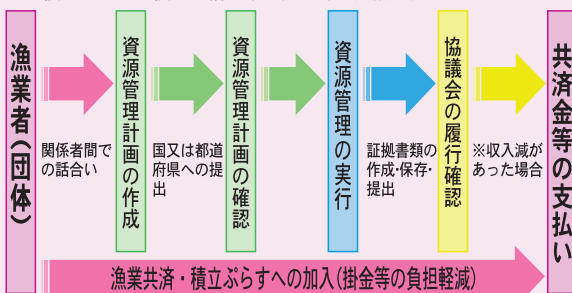
(2) コストについては、「漁業経営セーフティネット構築事業」により、燃油高騰が漁業に及ぼす影響を緩和する。



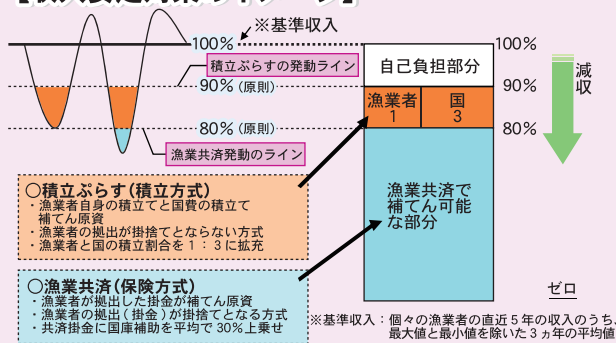
### 漁業収入安定対策事業

【漁業共済・積立ぶらすを活用した漁業収入安定制度】

- 資源管理への取組として、県が作成する「資源管理指針」に基づき、漁業者は「資源管理計画」を作成し、確実に実施する。
- 「資源管理計画」に参加する漁業者に対し、共済掛金の上乗せ補助、積立ぶらすの積立金補助率の拡充等の支援を実施。

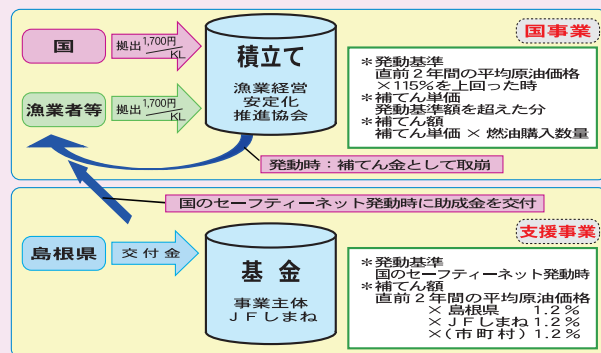


### 【収入安定対策のイメージ】

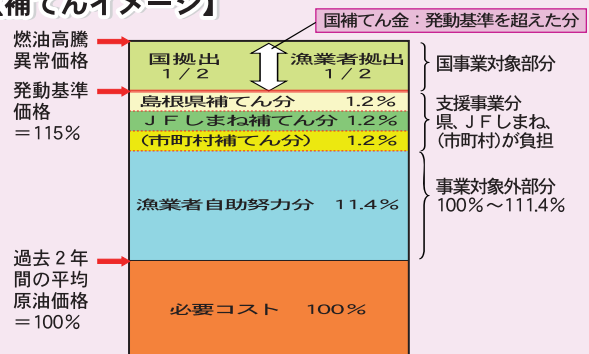


### 漁業経営セーフティネット構築事業

【原油価格が高騰したときに補てん金を交付】



### 【補てんイメージ】



ＪＦしまね信用部からのお知らせ

ＪＦマリンバンクしまねでは、金利がともお得な、住宅ローンキャンペーン『あかるい未来』を実施しております。

【キャンペーン期間】

平成22年10月1日から平成23年9月30日

【ご融資金利】

当初10年間：年1.7%、11年目以降：年2.8%

【ご利用いただける方】

- ご融資時の年齢が満20歳以上満65歳未満で完済時満80歳未満の方
- 安定継続した収入がある方（同居家族1名の所得合算可）
- 勤続、自営年数が2年以上で安定継続した収入のある方
- 保証会社の保証が得られる方
- 団体信用生命保険に加入できる方（保険料は当組合負担）
- 当組合と左記のいずれかのお取引がある方
- ①水揚げ代金または給与振込を当組合に指定
- ②定期貯金総額50万円以上
- ③定期積金給付契約総額50万円以上
- ④公共料金等口座振替2種類以上（同居家族でも可）
- ⑤生活総合共済または火災共済（融資対象物件）をご契約
- ⑥ご家族が年金を受給
- ⑦子供手当を受給

【お使いみち】

- 住宅の購入・新築、住宅の増改築、修繕資金および諸費用等
- 他金融機関からの借換資金



【ご融資金額】

500万円以上5,000万円以内

【ご融資期間】

15年以上35年以内

詳しくはＪＦしまね信用窓口までお尋ねください。心よりお待ちしております。

定期貯金をして『海のごつつお』を当てよう!

- 取扱期間** 平成22年11月1日から平成23年3月31日
- ご契約金額** 新規ご契約20万円以上
- 特典その1** 店頭金利に年0.1%（1年もの）または年0.15%（3年もの）を上乗せした金利でお預かりいたします。
- 特典その2** 抽選で「海のごつつお」をプレゼントいたします。
- 対象者** 個人の方および法人

金利がお得な上に『海のごつつお』が当たるチャンス!

この機会にぜひご利用ください。詳しくは信用窓口にお尋ねください。



温かい真心に感謝

【年未募金】

- 水委会（島根県水産課）
- 島根県漁港漁場整備課
- 島根県漁船保険組合
- 全国合同漁業共済組合島根県事務所
- JFしまね大田支所
- JFしまね浜田支所
- JFしまね恵曇支所
- JFしまね松江魚市場
- JFしまね境港市所
- JFしまね本所
- 【募金・香典返し】
- 松村 豊實 田中 源一（ほからぞ）
- 中島 龍夫 山根 真治
- 岸本 良男 小谷 考二



※平成22年7月から平成22年12月31日までにご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚くお礼申し上げます。

- ◆皆様からのご意見やご感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。  
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地  
漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係  
※E-mail: shidou@jf-shimane.or.jpまたは、  
FAX: 0852-27-6130でもお寄せください。

- ◆本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。  
＜JFしまねWEBサイト＞  
<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

編集後記

大晦日から元旦にかけ、山陰地方は記録的な大雪に見舞われ、停電や断水などの被害を受けた地域も多く、一部の港では小型漁船を中心に、浸水や沈没など、大変な被害を受けられた漁業者もいらっしゃいます。一日も早い復旧を願うとともに、今年も一層、県内各浜に活気と笑顔が溢れる年となるよう、皆様方の豊漁と海上安全をお祈り致します。(N)